

日本水道新聞 (2015 年 11 月 26 日付 1 面(上段)、3 面(下段)掲載)
【厚労省 大臣表彰を授与／民間 中辻英二 中央設計技術研究所代表取締役社長】



6人が表彰状を受け取った

厚生労働省は24日、平成27年度生活衛生事業功労者(水道関係功労者)の厚生労働大臣表彰式を開いた。医薬・生活衛生局の福田祐典・生活衛生・食品安全部長が日本水道工業団体連合会推薦の本山智啓・日本タクトイル鉄管協会理事長ら6人に表彰状を授与した。

冒頭、福田部長は塩崎恭久大臣の祝辞を代読。受賞者に祝辞を述べるとともに、新水道ビジョンの基本理念を理解し、連携と挑戦の意識・姿勢を持ち、安全で強靱な水道を次世代に引き継いでいくために一層の尽力を求めた。

本山理事長以外の受賞者は次の通り。▽鈴木潔・元北千葉広域水道企業団総務部長▽菅野敏夫・同技術部次長▽岡野道弘・スズキ代表取締役会長▽中辻英二・中央設計技術研究所代表取締役社長▽木村義信・貴水産業代表取締役、小松管工事協

厚労省

大臣表彰を授与

同組合専務理事▽松永進・香川県管工事業協同組合連合会副会長(表彰式は欠席)



中辻氏

中央設計技術研究所 代表取締役社長

中辻 英二

このたび厚生労働大臣表彰(水道関係功労者)があり、ありがとうございます。地方地域を中心として、約35年間水道施設の普及拡大、増補改良、更新等に貢献できたことをうれしく思います。地方のコンサルタントとしての役割が充分であったかどうか、これから後輩に引き継がれ新たな評価がいただけるものと思います。

若いときには顧客の厳しい要求に応えるために苦労したものです。行政と地元との狭間で対応、時間との争い、新技術の導入、地元施工会社との折衝など、すべてが私の先生でした。今日まで会社ともども育てていただきありがとうございます。今後は、人材の育成と確保を優先し水道事業経営関連分野への進出を行い、顧客の右腕として応え、社会貢献を果たしたいと考えます。

民間